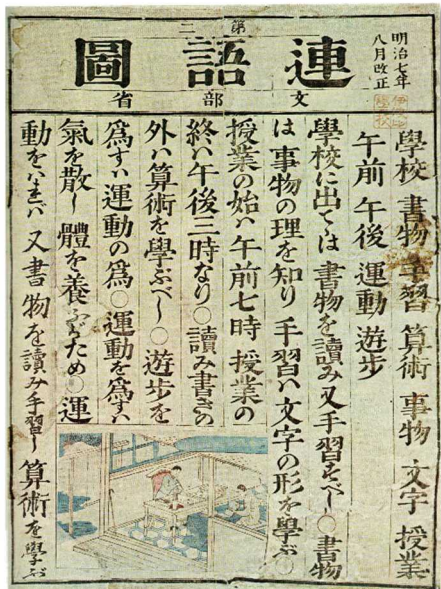


秋季企画展

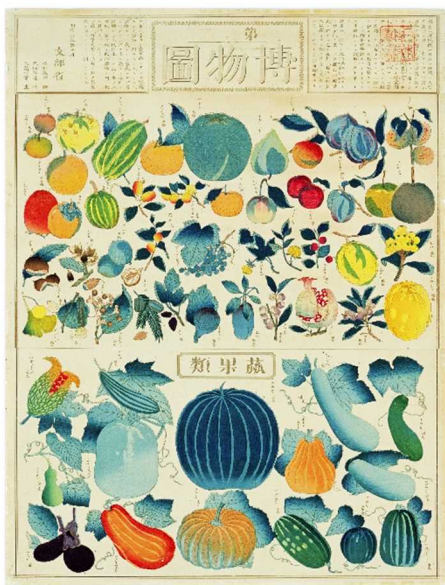
幕末明治福井の教育

近代教育のはじまり

幕末明治一五〇年博事業



第二連語図掛図(明治7) 玉川大学教育博物館蔵



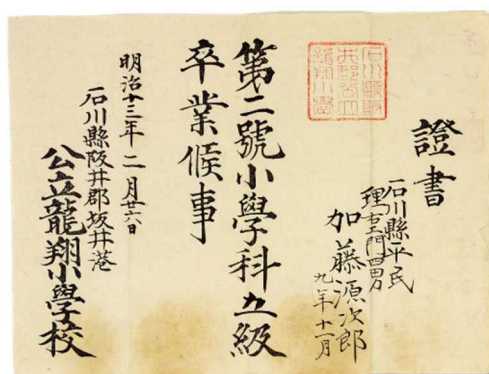
第二博物図掛図(複製 明治6)

新しい国は、新しい教育からはじまった。

明治政府が近代的な国家建設にあたって、重要な政策として取り組んだのが公教育でした。1872(明治5)年、「学制」の発布により、近代教育制度がスタートしました。

国民皆学をうたった学制でしたが、新しく設けられた小学校で教えることは、一般庶民が必要とした知識とはかけ離れており、授業料も徴収されたため、学校の必要性がなかなか理解されず、すべての子どもたちが学校に通うようになるには長い年月を要しました。

今回の展示では、明治初年の規則類や教科書・教具など、主として小学校に関連する資料を通して、「学制」発布以降大きな変革を遂げた近代教育のはじまりについて紹介します。



龍翔小学校5級卒業証書(明治13) 福井県文書館蔵
※嶺北地域は当時、石川県に属していました。



「教育必要幻灯双六」より (部分 明治22)



木製の垂鈴
(明治20年代以降)

◆会期

9月15日(土)
～11月11日(日)

◆開館時間

午前9:00
～午後5:00
(入館は午後4:30まで)

◆入場無料

◆休館日: 月曜日
(月曜祝日の場合翌日)
9月27・28日

◆アクセス

<JR> JR春江駅より徒歩約12分(1キロ)
<えちぜん鉄道> 鷺塚針原駅より徒歩25分(2キロ)
<京福バス> 福井駅「28運転教育センター線」乗車
「教育博物館前」下車 徒歩約7分

◆駐車場

普通乗用車200台、大型バス用2台
車椅子専用駐車場あり



福井県教育総合研究所

教育博物館

〒919-0461 坂井市春江町江留上緑 8-1
TEL:0776-58-2250 FAX:0776-58-2251
<http://www.fukui-educate.jp/museum>